

道の駅 どまんなか たぬま ふれあい交流館



所在地：栃木県佐野市吉水町366-2
構造・規模：鉄骨造平屋建
施主：株式会社どまんなかたぬま
総敷地面積：23,923㎡
延床面積：[ふれあい交流館] 1,664㎡
照明更新工事：昭和電機㈱・㈱飯島電設
照明更新完成：平成24年10月

S186

道の駅として全国屈指の人気を誇る「道の駅 どまんなか たぬま」では「エコステーション化」を推進中。まず施設内の「ふれあい交流館」の飲食店などの照明を、衣替えや増築と同時にLED照明器具を中心に更新しました。

日本屈指の人気を誇る道の駅が“エコステーション化”を推進中

「道の駅どまんなか たぬま」は、2001年に栃木県内で9番目の道の駅として誕生。地元の新鮮野菜が並ぶ農産物直売所をはじめ遊戯施設や庭園、足湯なども整い、年間通して盛りだくさんのイベントも開催され、道の駅のなかでは全国屈指の集客数を誇っています。2年前から“エコステーション”を目指した取り組みが進められ、EV充電スタンドの設置に続いて施設全体の省エネ化を図るため、飲食店などが入る「ふれあい交流館」の照明設備がLEDを中心とした照明にリニューアルされました。

LED照明器具中心のリニューアルで大幅な省エネ、省メンテナンスを実現

地域の情報を提供する情報コーナーの照明は、高天井部分に最新のLED高天井器具（平均消費電力135W）を設置し、情報案内板などにはLEDランプのスポットライトを配備してあかりだまりをつくり、親しみのある光環境を形成しています。レストランは和洋食のセルフレストランと本格中華料理レストランを配置。いずれも負荷低減と省メンテナンスを考慮して全てをLED化しています。和洋食レストランの照明は窓側と廊下側エリアを中心にLEDダウンライト2000シリーズ（消費電力27W）を2連して規則配置。天井面をすっきりさせて、テーブル面には電球色の温かみある光を落としています。中央エリアにはLEDダウンスポットライト（消費電力23.5W）を適宜配備し、テーブルの存在を際立たせる演出を図っています。

本格的な味で人気を集めている中華レストランは、テーブル上を浮かび上がらせるライティングを重視しLEDスポットライトライティングレールタイプとLED電球ハロゲン電球形ユニバーサルダウンライトを併用。席に座ったまぶしさ感を軽減しつつ、適度な輝度コントラストをつくることで、より空間を引き立てています。またポイントとなる場所ごとにLED電球内蔵の地元特産和紙によるセードを意匠したペンダントが空間に浮遊感のある安らぎのあかりを創出し、食のひとときを飾っています。このほか、パン工房、特産品売場、テラス、トイレなどもLEDに更新し、消費電力の大幅な削減を実現しています。



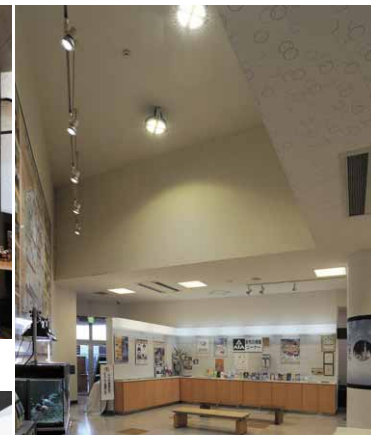
中華レストランの店内 主にテーブル上を浮かび上がらせる、落ち着いた照明空間を創造



和洋食の照明 LEDダウンライトとLEDダウンスポットによって、なごやかに寛げるスペースにリニューアル



和洋食レストランの中央エリアにはLEDダウンスポットを配置



情報コーナーの照明 高天井部にLED高天井器具を、情報案内板にはLEDランプのスポットライト



特産品売場の照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
セルフレストラン パン工房	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-20001ML-LS9	62	LED 消費電力27W
	LEDダウンスポットライト	LEDD-70101L-25	10	LED 消費電力23.5W
	LEDスポットライト	LEDS-70101L-25	8	LED 消費電力23.5W
中華レストラン	LED電球ユニバーサルダウンライト	IHD-2584K	34	LED電球 消費電力4.3W
	LED電球スポットライト	—	14	LED 消費電力4.3W
エントランスロビー	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-21021L-LS9	3	LED 消費電力26W
	LED電球ビームランプ	—	11	LED電球 消費電力14W
	LED高天井器具	LEDJ-10011W-DJ2	2	LED 平均消費電力135W